

【標準的な問題】（難易度：中）

下の文は世界史の授業で「中国の古典文明」を説明している様子を抜粋してまとめたものです。あなた自身がこの授業教室の生徒だと思って、文中の□1～□15に適する語句を考えて、答えなさい。

先生 「前 6000 年頃までに中国の黄河流域ではアワなどの雑穀を中心とした粗放な農耕が始まったと考えられていますが、長江流域ではどのような作物が栽培されるようになったのですか。」

生徒 A 「□1 です。」

先生 「そうですね。前 5 千年紀には長江中・下流域で人工的な水田施設をともなう集落がつくられたようですね。」

先生 「黄河中流域では同じ頃、仰韶（ヤンシャオ）文化が成立しました。定住にともない土器が用いられましたが、最初に使われた土器は何ですか。B 君どう。」

生徒 B 「先生、ヒントをください。」

先生 「では 2 択だ。黒色磨研土器（黒陶）か彩文土器（彩陶）か。」

生徒 B 「□2 かな。」

先生 「正解です。」

先生 「それでは、話題を変えて、中国最古の王朝は何でしょうか。」

生徒 C 「先生、殷です。」

先生 「惜しい。殷王朝は実在の明らかな最古の王朝ですね。殷王朝の前に存在したとされる伝説上の王朝なのですが、誰か、わかる人いませんか。」

生徒 A 「黄河の治水に功があった禹から始まる□3 王朝です。」

先生 「さすが A さん。いいですねえ。」

先生 「□3 王朝は文献では記述されていますが、たしかに存在が確認されていない王朝です。1950 年代に大規模な宮殿遺跡が河南省で発掘され、この王朝との関連が指摘されています。中国では公式に存在が認められている伝説上の王朝です。」

先生 「そして、この□3 王朝を滅ぼし、前 16 世紀頃に建国したとされるのが殷王朝なのです。」

先生 「さて、では殷王朝の都の遺跡が発見されたのは何世紀の初めでしょうか。」

生徒 D 「□4 世紀初めです。」

先生 「当たりです。意外と新しいのですね。現在の河南省安陽市で王墓や大きな宮殿が発見され、殷王朝が前 2 千年紀に実在したことが証明されました。もちろん、司馬遷がまとめた『□5』に叙述はされているのですがね。」

生徒 B 「その頃、現在の漢字のもとである□6 文字がつくられたのですよね。」

- 生徒C 「へえー、そうなんだ。教科書に写真が出ているね。でも、この字全然読めないな。」
- 先生 「この文字は占いを記録したもののようだね。殷王朝も前 11 世紀頃、周に滅ぼされてしまった。このような王朝交替を孟子という人は天命が“^{あまた}革まれば天子の姓が易る、”と唱えました。これを漢字 4 字で [7] と言います。」
- 生徒A 「なんだか、楽しくなってきたわ。」
- 先生 「やがて、周王朝も西北方面で周辺民族の活動が活発になり、都が異民族によって攻略され、前 8 世紀に都を東方の洛邑(洛陽)に移すことになりました。以後、周の勢力は衰え、前 3 世紀後半の秦の統一まで分裂と抗争の時代が続きました。中国史ではこの時期の前半、前 5 世紀末までを [8] 時代、それ以後の後半の時期を戦国時代と呼んでいます。」
- 生徒E 「なるほど。そういえば、日本でも戦国時代ってあったよね。時代も国も違うのに、同じ名前がついているなんて、おもしろいなあ。」
- 先生 「他にはたとえば南北朝時代という名称もありますよね。」
- 先生 「[8]・戦国時代は戦争の続く時代でもあったので、人々が新しい社会秩序のあり方を模索した時代でもあったのです。多様な新しい思想がうまれ、諸子百家と総称される多くの思想家や学派が登場しました。」
- 生徒D 「孔子ですね。」
- 先生 「その通り。孔子を祖とする儒家思想が代表的な例ですね。この儒家を批判し、道に従い無為自然を理想とした老子・荘子の学派をなんと言いますか。」
- 生徒B 「[9] かな。」
- 先生 「そうですね。さすが。それでは、戦国時代法家で秦の強国化をもたらしたが、最後は非業の死を遂げた人物は誰でしょう。」
- 生徒A 「李斯かなあ。」
- 先生 「うーん、質問の仕方が先生、いけなかったかな。確かに李斯も法家で非業の死をとげましたが、彼は秦の [10] に仕え、中国統一に貢献した人です。李斯よりも 100 年以上前の人物なのですが。それでは 2 択でいきましょう。韓非、それとも商鞅、どちらでしょうか。」
- 生徒E 「わかった、図録に出ているよ。 [11] だ。」
- 先生 「よく気が付きましたね。前 4 世紀の [11] の改革で国力をつけた秦は、前 221 年中国を統一することに成功しましたが、わずか 15 年で滅んでしまいました。そして、再び中国を統一し、漢王朝をたてたのが、項羽、それとも劉邦どちらかな。」
- 生徒F 「 [12] です。古典の授業で“鴻門の会、”や“四面楚歌、”で勉強しました。項羽、劉邦が出てました。」
- 先生 「なるほど、正解です。彼は秦の急激な統一政策の失敗を教訓として秦の [13]

と周から始まる封建制度を併用する郡国制を採用しました。前2世紀後半、第7代皇帝の武帝は中央集権化を進め、儒学を官学化しました。また、北方で漢を圧迫していた[14]を撃退し、[14]を攻撃するため張騫を西域に派遣しました。」

生徒C 「漢の全盛期ですね。」

先生 「一応前漢の最盛期といわれていますが、ひどい財政難に陥りました。やがて、宦官や外戚が実権をめぐって争い、外戚の王莽が漢の皇帝を廃位し、後8年に新を建国しました。しかし、わずか15年で滅んでしまいました。漢の一族が後25年皇帝となりました。これが[15]帝で、再び漢を再興しました。この漢を後漢と言うのです。」

みんな 「中国史って、スーパーウルトラ難しい。」

先生 「ですよー。」

解答

1	2	3
稻 (米)	彩文土器 彩陶	夏
4	5	6
20世紀	史記	甲骨文字
7	8	9
易姓革命	春秋時代	道家
10	11	12
始皇帝	商鞅	劉邦
13	14	15
郡国制	匈奴	光武帝

各2×15

30点